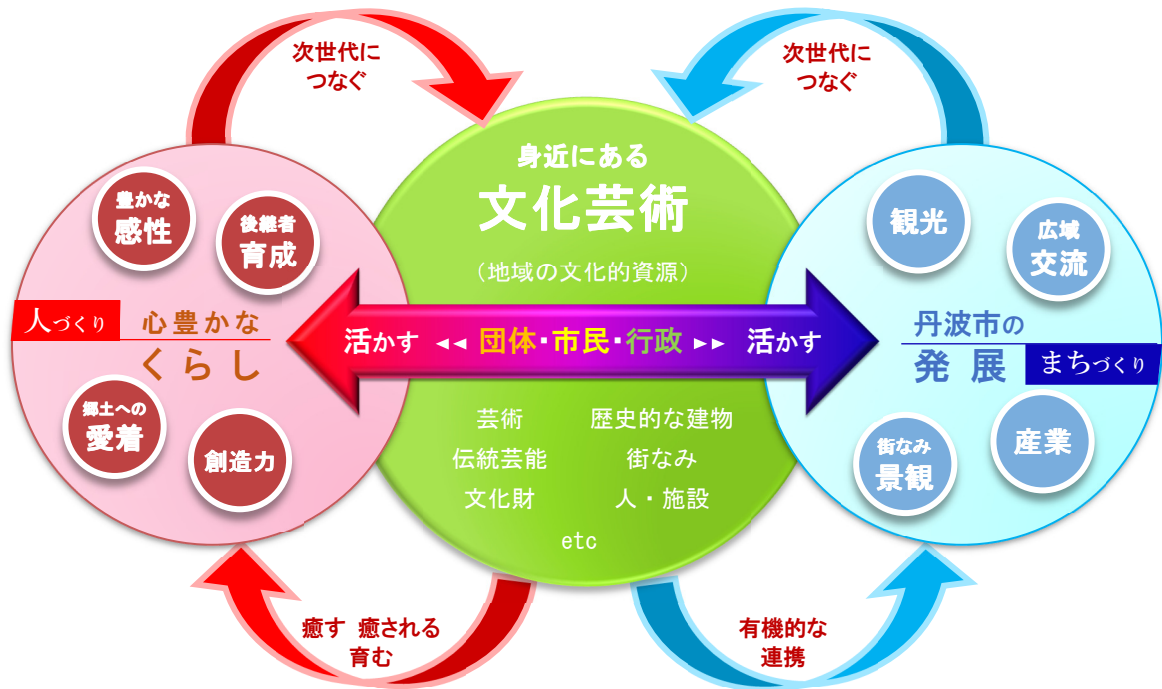


1. 基本理念

本市における文化芸術の推進のために、本計画の基本理念を次の通り掲げます。

多様な文化芸術を活かした次世代の 人づくり・まちづくり



【基本理念・計画のスキームについて】

丹波市の多様な文化芸術は一朝一夕にできたものではなく、私たちの先人が長い歴史や暮らしの中で大切に育み、現在に引き継がれています。

文化芸術には、人々の創造性を育み、その表現力を高めるとともに、人々の心の繋がりや多様性を受け入れることができる、心豊かな社会を形成する力があります。私たちには、この文化芸術をさらに発展させ、次世代へ引き継いでいく責務があります。

本計画における「文化芸術」という言葉は、芸術・伝統芸能・文化財・歴史的な建物・街なみ、また、文化芸術を支える人や、基盤となる文化ホールなど、非常に幅広い意味で使っております。

この多様な文化芸術を活かしていく主体は、「市民」「団体」「行政」で、この文化芸術を活かしていくためには、大きく分けて2つの方向があります。

1つは、文化芸術を人づくりに活かしていく方向と、もう1つは、まちづくりに活かしていく方向です。

まず、左側の人づくりや心豊かな暮らしに活かしていくことについては、3つの基本目標があります。

- 1つ目は、市民の皆さんが文化芸術に親しみ、心を癒し、「豊かな感性」を育む等、暮らしの中で活かしていくということ。
- 2つ目は、文化芸術活動そのものを楽しみ、また、「後継者の育成」等に活かしていくということ。
- 3つ目は、文化芸術を活かし、将来を担う子どもたちの「郷土への愛着」「創造力」を育むということです。

一方、右側は文化芸術を地域資源としてとらえ、まちづくりに活かしていくことです。文化芸術を「観光」「広域交流」、そして「街なみなどの景観」「産業」等、「まちづくり」や本市の「発展」そのものに活かしていくというもので、今後、この方向性が益々重要になります。

このように、本市の身近な暮らしの中にある“今ある・今している”多様な文化芸術を活かしていくことで、次世代の人づくり・まちづくりに繋げていきます。

2. 施策体系

基本的な考え方： **今**あるもの、**今**していることを**活**かしていく

基本理念

多様な文化芸術を活かした次世代の人づくり・まちづくり

人づくり

鑑賞者・体験者に関すること

基本目標1

文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る

幅広い市民が癒される・楽しむ

活動者に関すること

基本目標2

文化芸術活動が活発に行える環境の整備を行う

活動者が癒す・活力を生み出す・楽しむ

子どもに関すること

基本目標3

子どもたちが多様な文化芸術に触れる機会を増やす

子どもたちを育む

まちづくり

活用に関すること

基本目標4

観光・まちづくり等への有機的な連携を進める

文化芸術を活かす

＜各基本目標に対する基本方針＞

①気軽に文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実を図る。

②市民自らが丹波市の文化芸術の良さを再認識する。

③県と市の連携を進める。

④文化芸術の広域交流を進める。

①文化芸術活動を行う後継者の育成を行う。

②文化芸術活動への参加促進を図る。

③団体同士の連携・協調を行う。

④文化芸術を担う若手の芸術家の発掘・育成を行う。

⑤市の中心地域に文化芸術の鑑賞・活動を行うことができる施設の整備を図る。

⑥丹波市（県を含む）ならではの舞台芸術等に磨きをかける。

①普段の生活の中で、子どもたちの記憶に残るような文化芸術鑑賞・活動を行う。

②学校教育で、優れた文化芸術に身近に触れ、感じる力（まごころ・愛着・想像力・創造力）を育む。

③子育ての過程で、親子で文化芸術に親しむために取組を進める。

①伝統芸能・伝統文化等の保存・継承・活用を行う。

②文化財（技術を含む）の保存・継承・活用を行う。

③文化的資源を新たに発掘・活用する。

④情報発信を積極的に行う。

＜10年後の将来像＞

鑑賞者・体験者に関すること

文化芸術の鑑賞・体験ができる機会の充実が図られ、「行ってみて良かった」「良い時間が過ごせた」「心が安らいだ」と思えるような、心豊かで充実した生活を営んでいる。

活動者に関すること

文化芸術活動が活発に行える環境整備が進んでおり、文化芸術による交流を通し、文化芸術に携わる人が増えている。また、文化芸術サロン（交流の場）ができ、若手の芸術家が少しずつ育成され活躍している。

子どもに関すること

子どもたちの記憶に残るような文化芸術に触れる機会が増えたことにより、豊かな「感性」や「情操」を育むとともに、生まれ育った郷土への愛着が少しずつ醸成されている。

活用に関すること

文化芸術に関わる人たちが一つの輪ができ、「住みたい」「育てたい」と思えるような魅力ある楽しいまちになっている。また、少しずつ交流人口が増え、祭り等の伝統文化や歴史的な街なみが活用されている。